






**国道43号・阪高神戸線は
運行規制が適用される**



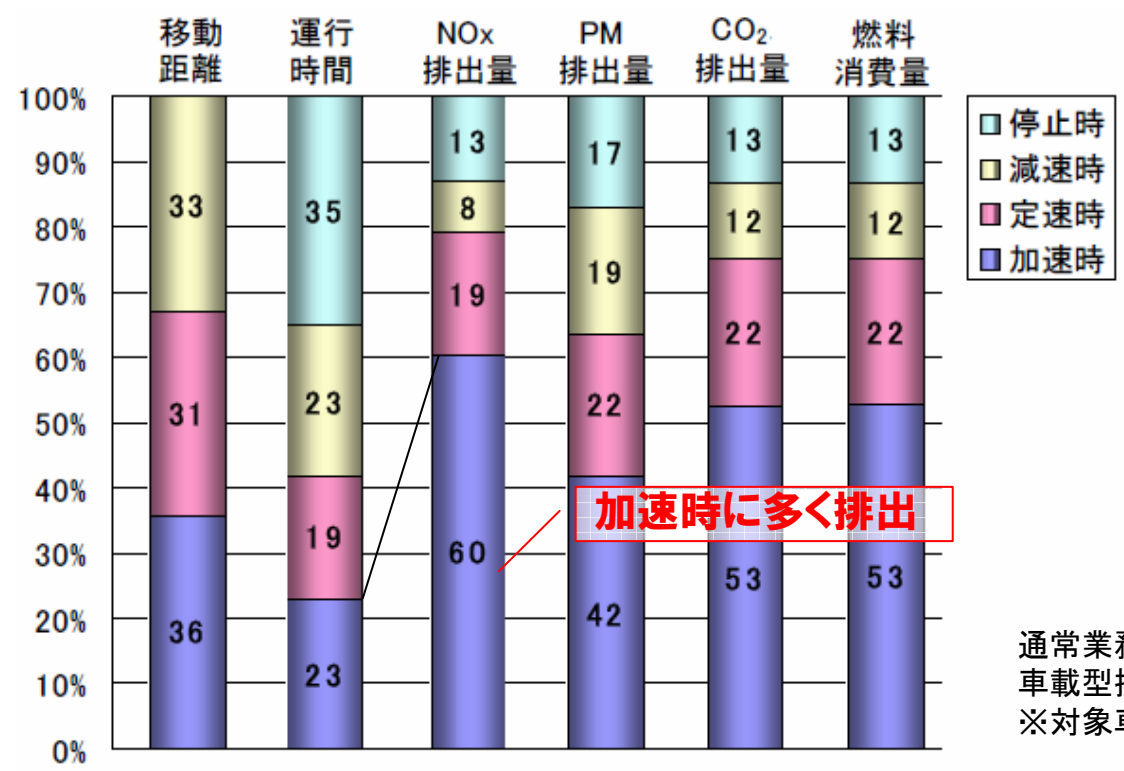
-  ...規制対象地域
(この地域内の道路では運行規制が適用されます)
-  ...規制対象外地域及び路線
(この地域内の道路では運行規制が適用されません)
-  ...規制対象外路線
(この道路では運行規制が適用されません)



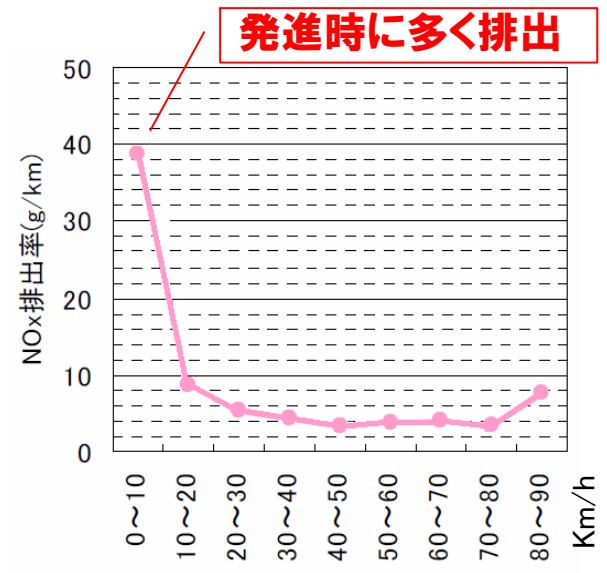
環境に配慮した走行 急加速の禁止

窒素酸化物(NOx)は、加速時に多く排出
 → 急加速せず、「**ふんわりアクセル**」でゆっくり発進

車載型排出ガス計測器による排出量調査結果



4モード別排出量等構成比



速度ランク別NOx 排出率

通常業務中 (PC等の精密機器を輸送) における運行状況を車載型排出ガス計測器等により測定
 ※対象車両・・・車両総重量: 7,965kg、最大積載量: 3,100kg

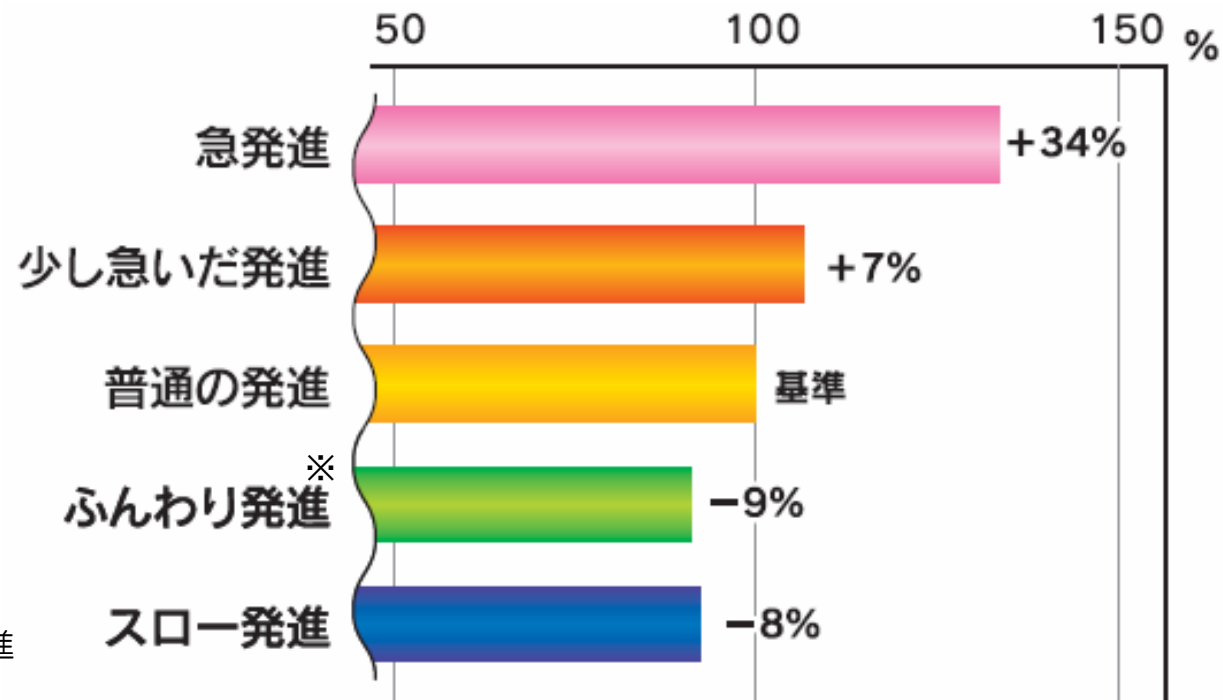
ふんわりアクセル

「ふんわりアクセルeスタート」とは

燃費を向上させる「やさしい発進」の名称。

発進から最初の5秒間で時速20キロに達するくらいの加速が目安。

発進の仕方と燃料消費量の割合



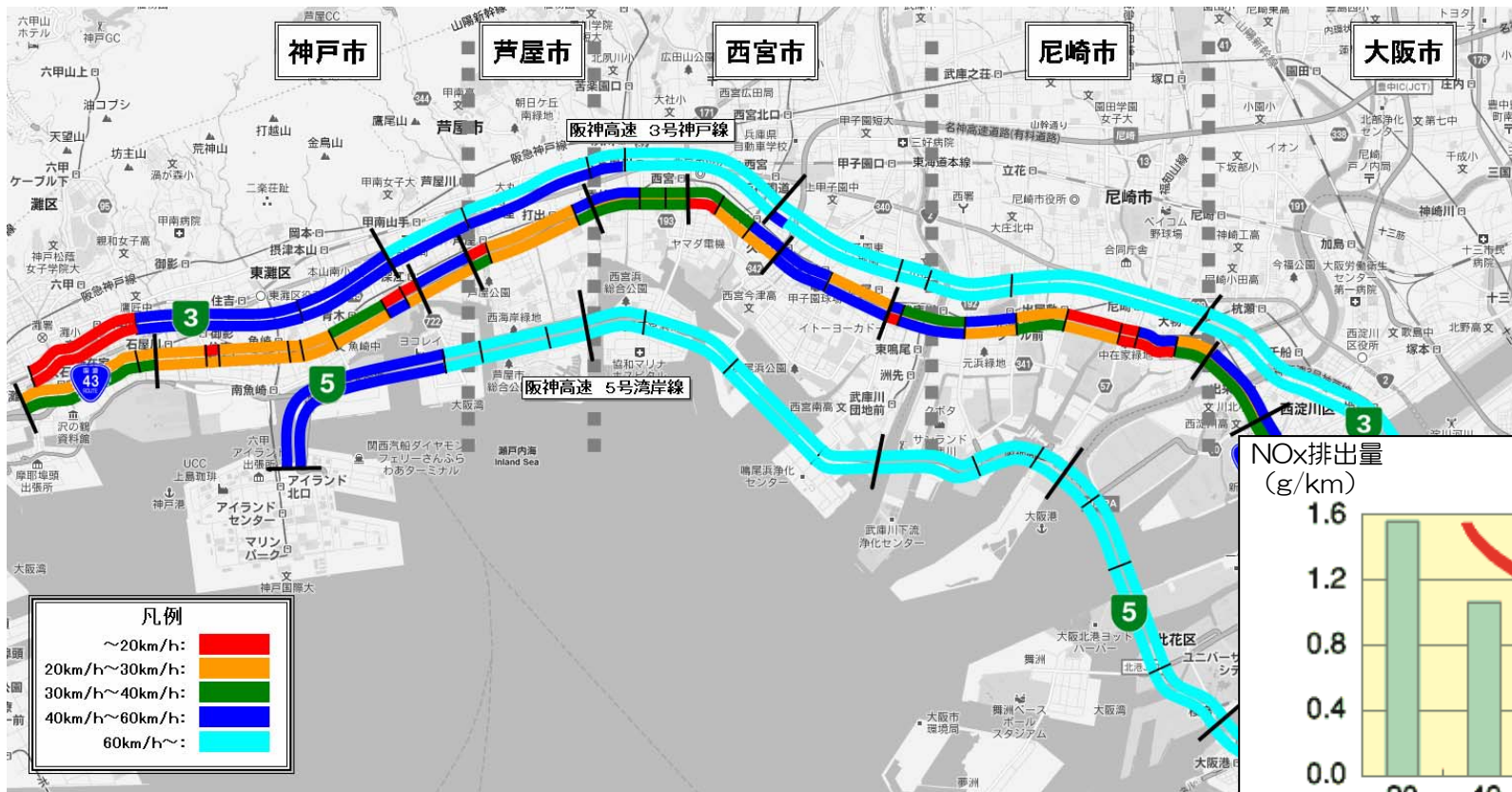
※ 普通の発進よりもほんの少しゆっくり発進

発進から40km/hまで加速、その後40km/hを維持する条件で、200までの区間の燃料消費の比較
(30人のドライバーの平均、省エネルギーセンター調べ)

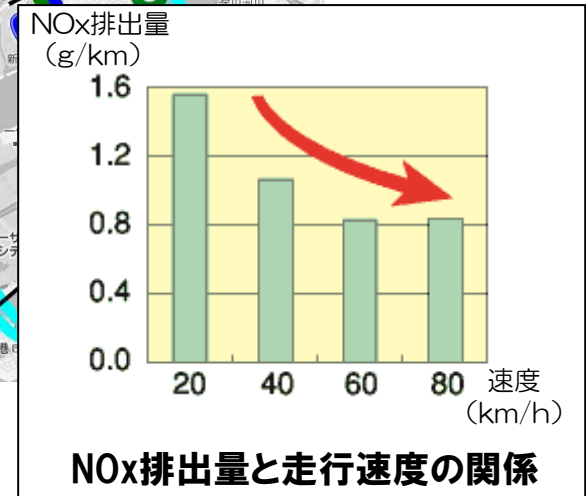
環境に配慮した走行 渋滞を避けた走行・湾岸線への迂回

渋滞時は停止・発進の繰り返しとなり、多くのガスが排出
 → 渋滞を避けた時間帯・経路へのシフト、湾岸線への迂回

国道43号・阪神高道路(神戸線、湾岸線)の混雑時旅行速度



「平成22年度道路交通センサス」より作成



出典) 国交省HPより

(参考資料) モビリティマネジメント(MM)の特徴

MMは、過度な自動車利用により生じる諸問題を改善するため、一人ひとりに対して、マイカーに過度に依存したライフスタイルから、徒歩・自転車・公共交通を適切に利用するライフスタイルに**自発的な転換を促す**ような働きかけを行う、コミュニケーションを中心とした新しい施策です。

MMの特徴

1) 自発的な行動変化を期待する

規制や課金などによって、自動車の抑制を強制したり誘導したりするのではなく、一人ひとりが各人の事情を考慮しつつ、無理のない範囲で自発的に交通行動を変えるようになることを期待する。

2) 意識や習慣等の社会的・心理的要素に配慮する

自発的な行動変化を期待するために、人々の意識や社会的な心理的側面に配慮する。そして、そのために、社会心理学等の理論を援用する。

3) 大規模かつ個別的なコミュニケーションを主体とした施策である

人々の意識や行動の変化を期待するアプローチとして、「コミュニケーション」を採用する。ただし、MMにおけるコミュニケーションは、「大規模、かつ、個別的」なものである点が特徴的である。すなわち、テレビや新聞などのマス・コミュニケーションよりも、より個別的で、また、数人を対象とした会話よりも大規模なものである。